



いずかし

児童会もがんばっています

「自主、自立、自信」子供の「できた!」を見守る伴走者

R8. 5月26日 8号
文責：園田

本校では学期に一度、異年齢の児童同士で協力したり、よりよく協力したり、協働して目標を実現したりして学校生活の充実と向上を図ることを目的として運営委員会を中心に各委員会の代表者、3年生以上の学級代表児童が集まって「代表委員会」を行っています。

第一回目の議題は、本校のスローガン「もっと やればできる!」をもとに児童会のテーマを決めるというものでした。

提案理由は、①「主体的に学び 行動し 夢を持つ子供」になるために、みんなでがんばりたいことを考えたい。そして、②「植柳小の人権宣言」を決めてみんなが楽しく学校生活を送りたいとして活発に話し合いました。

代表の子供たちは、①については、スローガンを行動に移すために、大事にしたいことを、②については「いじめをしない、させない、許さない仲間になるための学級の人権宣言」をあらかじめ話し合ってきており、積極的に意見を出して話し合っていました。

決まった内容は次の通りです。
○児童会テーマ
笑顔で挑戦
植柳小人権宣言
友だちのよさを見つけて伝えよう



代表委員会の様子

学校内は毎日で「2年生」

先日、2年生の子供たちが、1年生の子供たちに、学校のいろいろな場所を紹介する「学校案内」を行いました。2年生の子供たちが、自分たちで作った資料を使って、職員室や保健室、

音楽室など様々な場所に分かれて1年生にその場所の紹介をしていました。
1年生も、2年生のクイズや説明を聞いて、初めて知ったことがたくさんあって、とても勉強になったようでした。
2年生にとっては、一つ上のお兄さんお姉さんとして、学校紹介という仕事をやりきった達成感があり、自分たちの成長を感じている機会となりました。



2年生の説明を聞く一年生

職員猛勉強中!

先日、宇土小学校から上塚校長先生を講師としてお招きして、「読み解く力」を高めるための授業づくりについて講話をいただきました。
国語科の1年生「はなのみち」と、4年生「ごんぎつね」の題材を通して、文中の叙述と自分の経験を結びつけて場面の様子

を理解するという学習目標の授業の演習を行い、教師の視点や子供の目線について考え、新たな学びを共有しました。



熱心に話を聴く職員

食育の取組(5年生)

5月15日(金)に、農家を営んでおられる塚田さんと、JAやつしろの職員をお招きして、「種子消毒」を行いました。これは、毎年5年生がご指導の下、敷地内で田植えの体験を行っているもので、今回は種子を発芽させる前に、病気を防ぎ元気な芽を出すための大切な作業です。

また、18日(月)は種まき体験を行いました。育苗箱の升の中に三粒の種を丁寧に入れて行く作業を通して、種一粒一粒に大きく育ててほしいという願いが込められているように見えました。

子供たちはこれから、お米を食べるだけでなく、いろいろな過程を経て米が食卓に運ばれるという「生産者の視点」を勉強します。消毒を終えると種まきとなります。塚田さん、JAやつしろの方々からご指導よろしくお願いたします。

引き渡し訓練を行います

6月5日(金)に児童引き渡し訓練を行います。これは大雨をはじめとした自然災害や、不審者対応などを想定した重要な訓練です。いかに速やかに保護者に引き渡せるかに加えて、この訓練を通して連絡系統や、校内外での人や車の動きを検証して改善の材料にするものです。ご理解と協力をお願いいたします。なお、引き渡し時の敷地内での通行順路はホームページ内「児童引き渡し時の車両通行経路」に掲載していますのでご確認ください。



種子消毒の様子を見る5年生



育苗箱に種を入れる様子